

団体名 紙人形劇団ネリノ (宇部市)

代表者名	谷本 和子	団体の目的 ・絵本の心を子ども達から大人までたくさんの人に伝える ・上演会を通して地域と交流し、「紙人形劇」を県下で広く伝えていく
構成員数	6人	
設立	H20年8月	
問い合わせ先	☎090-7137-4297 (谷本)	

事業名 思いやる心を伝える紙人形劇の制作活動・公演活動・ふれあい活動

- 事業の目的**
- ・紙人形を制作し、紙人形劇を通して思いやる心をたくさんの人に伝える
 - ・観る人の心に響くような公演をめざすとともに、多世代と一緒に紙人形に親んでもらえるよう、公演後、紙人形に触れたり動かしたりしてもらい、交流を図る

- 事業の内容**
- ①「第10回サマージョイント公演2018」の開催
日時：8月25日(土) 14:00~16:00 場所：フィッカルあじす(山口市)
- ②訪問公演
日時：10月7日(日) 11:00~12:10 場所：宇部市立図書館(宇部市)
日時：11月10日(日) 14:20~15:45 場所：山口県児童センター(山口市)

- 事業の成果**
- ・人形劇を見られた方は、素の喜びを体中で表しておられ、子ども達から高齢者まで幅広い年齢層に絵本からのメッセージをしっかりと伝えることができた

活動現場レポート! 第10回サマージョイント公演2018 〈H30.8.25/フィッカルあじす〉

この日は、山口金管アンサンブルと合同で定期公演が開催され、多くの家族が参加されていました。

3部構成で、紙人形劇「4ひきのりっぱなこぐま」と「猫は生きている」の上演のほか、金管楽器の演奏がありました。

紙人形劇は、山口金管アンサンブルの演奏とともに上演され、大きな紙人形による迫力のある演技に、身を乗り出して食い入るように見る子どもの横で、保護者の方も真剣に鑑賞されていました。

公演終了後には、紙人形に触ったり、動かしたりする「ふれあいタイム」が設けられ、多くの子どもたちが、実際に動かして、楽しんでいました。



出演者の紹介



紙人形に触れる子どもたち

